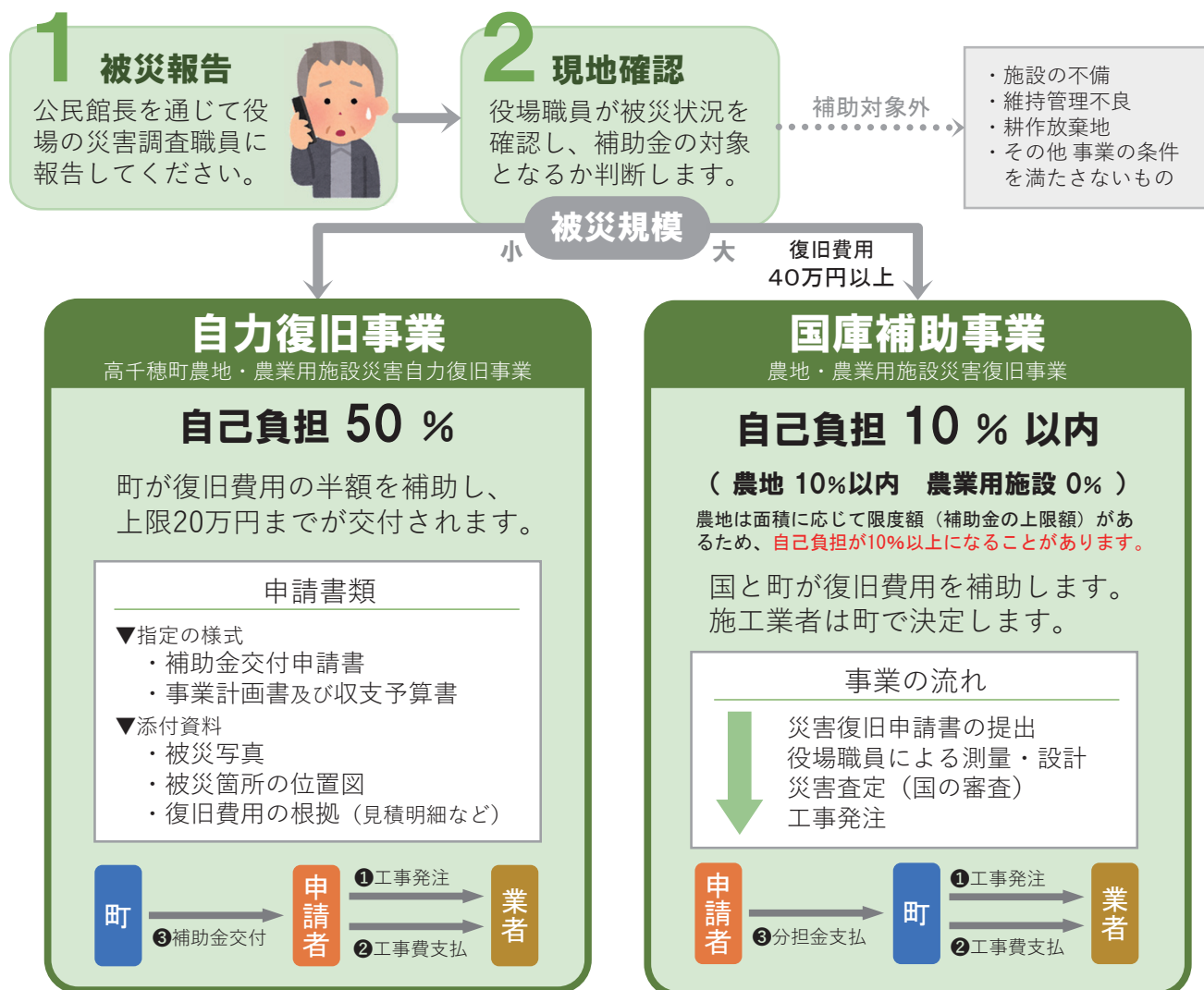




Q すぐにでも復旧したいのですが、自分で復旧工事を始めてもよいでしょうか？

A 補助金が無効となるおそれがあります。
着手前に必ず農地整備課にご相談ください。

▼被災箇所が国庫補助事業で申請されている場合

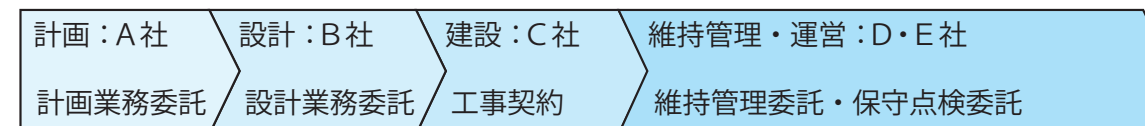
復旧工事の設計および発注は町が行います。個人で復旧作業をすると補助対象外となる可能性がありますので、土砂除去などの相談は必ず事前に農地整備課をお願いします。

▼補助事業が申請されていない場合

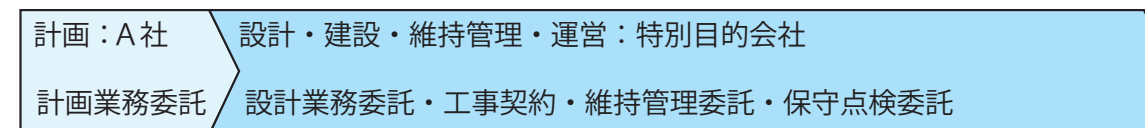
国庫補助事業の申請期限は災害発生後概ね30日以内です。町の自力復旧事業の申請期限は原則年度内ですが、令和4年台風14号は被害多数のため本年度も受け付けています。

●事業方法 それぞれの事業方法について説明します。

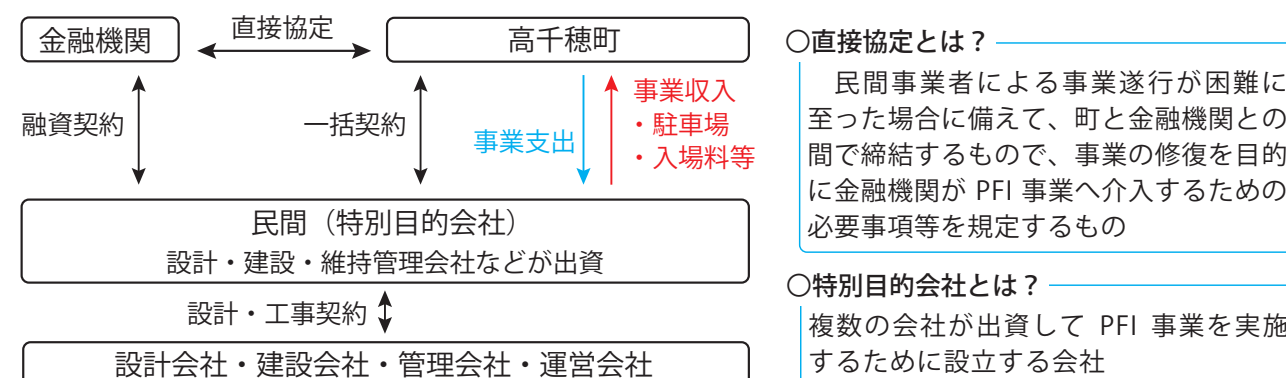
【従来方式】 工種ごとに民間事業者と契約



【PFI方式】 特別目的会社と一括契約

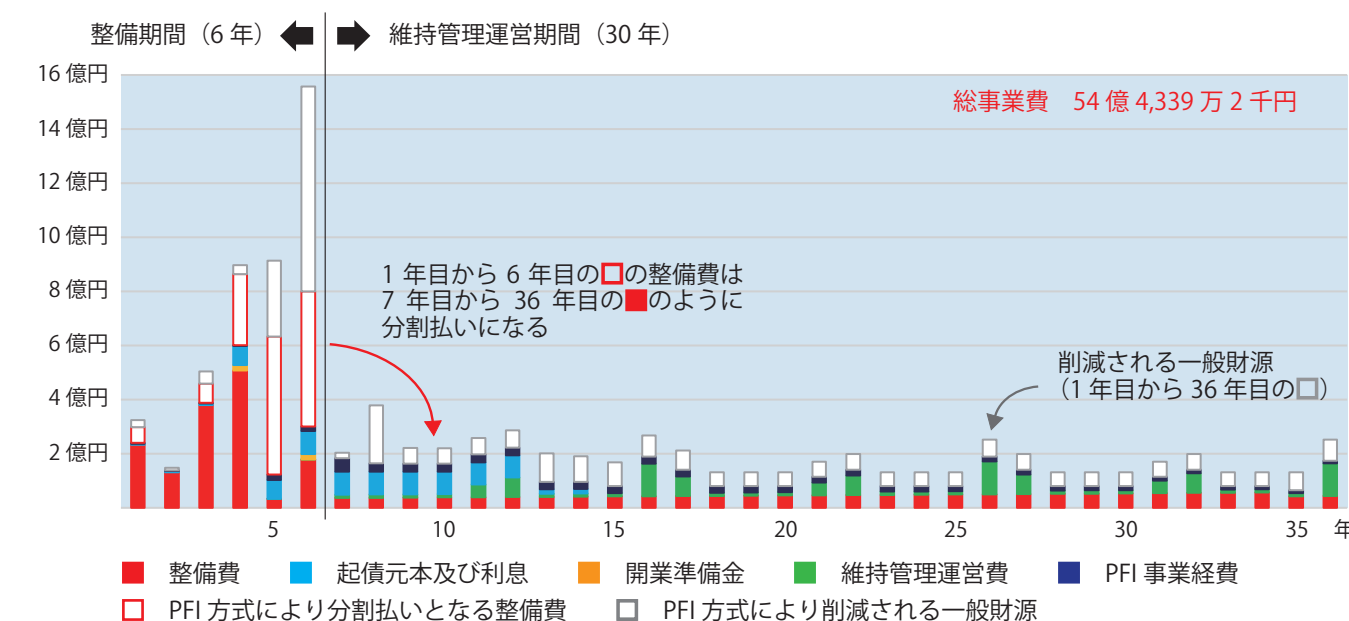


●PFI方式事業方法イメージ



PFI方式では、特別目的会社が融資契約を締結している金融機関から融資を受け、民間事業者の資金により、設計・建設・維持管理運営を行います。町は特別目的会社と事業の一括契約、金融機関と直接協定を締結し、事業の管理を行い、特別目的会社に事業費を支払います。

●事業費 PFI方式の年度ごとの事業費について説明します。



PFI方式で事業を実施した場合、図中□部分は不要となります。また、整備期間中（1年目～6年目）の■部分は国からの補助金等であり、一般財源を活用する整備費（図2 □部分）は、7年目以降に分割払いとなります。民間事業者の資金やノウハウ等を活用しながら、高千穂鉄道の長期にわたる維持管理や有効活用を行っていく計画となります。